

令和2年度予算の概要

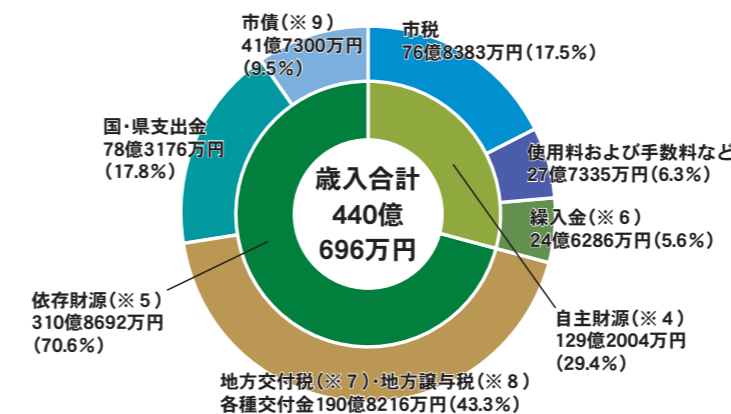
**令和2年度市の全体予算
808億3333万円**

本市は、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など5つの特別会計(※2)と病院事業など4つの企業会計(※3)があります。会計ごとの予算額は、左表の通りです。

■会計別予算額

会計名	令和2年度予算額	全体割合
一般会計	440億696万円	54.4%
特別会計	197億5810万円	24.5%
国民健康保険特別会計	87億4259万円	10.8%
後期高齢者医療特別会計	8億4003万円	1.1%
介護保険特別会計	101億7538万円	12.6%
土地取得特別会計	9万円	0.0%
宅地造成事業特別会計	1万円	0.0%
企業会計	170億6827万円	21.1%
水道事業会計	34億5190万円	4.3%
下水道事業会計	50億8952万円	6.3%
病院事業会計	80億3951万円	9.9%
老人保健施設事業会計	4億8734万円	0.6%
合計	808億3333万円	100%

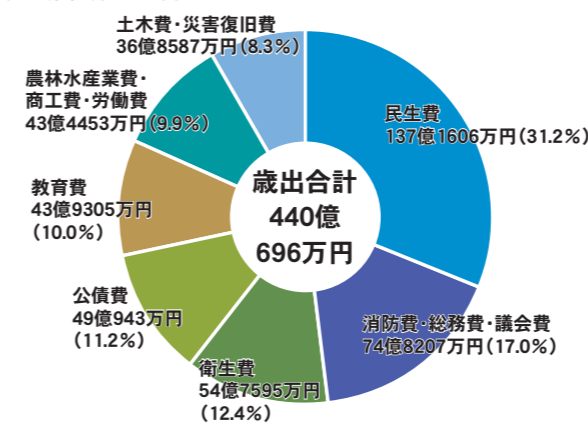
■一般会計歳入予算



額は、440億696万円、前年度に対して30億2296万円の減となりました。

歳入は、地方交付税などの交付金が190億8216万円、国・県支出金が78億3176万円、これらを合わせた269億1392万円と歳入合計の約60%を占めており、依然として国や県などへの依存度が高い状態にあります。

■一般会計歳出予算



歳出は、子どもやお年寄り、障がい者に対する福祉の充実などに使われる民生費が137億1606万円と最も多く、次いで市民を守る消防・救急などの消防費、市の管理業務である総務費、議会運営関連経費である議会費を合わせると74億8207万円、健康づくりや環境対策などの衛生費が54億7595万円と続いています。

令和2年度の主要な施策(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

1 生きる力と創造力を養い 自ら学び人が「そだつ」まちづくり

【新規】認定こども園等施設整備事業(1億4715万円)



保育環境の向上と待機児童の早期解消に向け、認定こども園を整備する民間事業者に対して、補助金を交付し支援します。

【新規】放課後児童クラブ整備事業/教育支援センター運営事業

【拡充】小中学校等再編整備事業

【継続】小学校入学祝金支給事業/(仮称)豊里こども園施設整備事業/(仮称)石越こども園施設整備事業/学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業/学校音楽支援事業/教育用コンピュータ更新事業/地域伝承文化振興事業/東京オリンピック・パラリンピック事前合宿支援事業

2 安全安心な暮らしが支える笑顔で 健康に「いきる」まちづくり

【新規】妊娠・出産包括支援事業(63万円)



妊娠、出産、子育てをする母親および家族に対し、妊娠期から子育て期まで、安心して子どもを産み育てられるよう支援します。

【継続】自立支援給付費支給事業/健康づくり啓発事業/健康診査事業/適塩推進対策事業/病院事業(繰入金)/高規格救急自動車整備事業/応急手当普及啓発事業/防火水槽整備事業/消防団車両等整備事業/防災情報伝達手段整備事業/ミニデイサービス・シニアサロン事業(介護保険特別会計)/生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)/認知症総合支援事業(介護保険特別会計)

3 地域資源を活かし魅力ある 元気な産業を「つくる」まちづくり

【拡充】農業生産効率化推進事業(450万円)



水稲直播栽培に関する機器およびICTなどの技術を活用したスマート農業機器の導入を支援します。

【新規】林道施設長寿命化事業

【拡充】観光誘客対策事業

【継続】シティプロモーション推進事業/農業振興地域整備計画策定事業/多様な担い手育成支援事業/農業担い手育成支援・農業次世代人材投資事業/人・農地問題解決加速化支援事業/農地中間管理事業/畜産総合振興対策事業/汚染牧草等処理事業/園芸産地拡大事業/森林経営管理事業/商店街交流創出事業/ビジネスチャンス支援事業

4 自然と生活環境が調和し 人が快適に「くらす」まちづくり

【新規】デマンド型乗合タクシー実証運行事業(1599万円)



デマンド型乗合タクシー実証運行事業を実施する4つのコミュニティ組織の運行経費などを補助します。

【新規】立地適正化計画策定事業/保呂羽浄水場再構築事業(水道事業会計)

【拡充】空き家改修事業

【継続】移住・定住促進事業/住まいサポート事業/災害廃棄物緊急処理支援事業/市道舗装補修事業/道路新設改良事業/橋りょう維持補修事業(橋梁長寿命化事業)/下水道整備事業(繰入金)/市営住宅建替事業(迫西大網住宅)/水道管路緊急改善事業(水道事業会計)

5 市民と行政が「ともに」創る 協働によるまちづくり

【拡充】ふるさと応援寄附金事業(1億1447万円)



本市を応援していただく人々からの寄附金を財源とし、寄附者の思いを反映した事業を推進します。

【拡充】公共施設等公民連携まちづくり事業/RPAによる業務プロセス自動化事業

【継続】未来のまちづくり支援事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市公式ホームページの「市政情報」→「行政・施策・計画」→「財政」でお知らせしています。ホームページを見ることができない人は、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。



【問い合わせ】企画部財政課(財政一係)
☎0220(22)2159

【会計区分の解説】

- ▼一般会計(※1) 市税、地方交付税、国・県支出金を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策に係る経費の会計
- ▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計
- ▼企業会計(※3) 水道事業や病院事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計

【歳入科目の解説】

- ▼自主財源(※4) 市独自の収入。家計に例えると給料や不動産の売却収入など
- ▼依存財源(※5) 国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助、市債は金融機関からの借入れに当たる
- ▼繰入金(※6) 市の基金(貯金)を取り崩したものである
- ▼地方交付税(※7) 市町村が一定水準のサービスを提供できるよう、国から交付される
- ▼地方譲与税(※8) 国が市に変わって集めた税金が配分されるもの
- ▼市債(※9) 事業をする際に借り入れるもの

【歳出科目の解説】

- ▼民生費 子どもからお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など
- ▼消防費 総務費、議会費 市民を守る消防、救急や市の管理業務、議会運営など
- ▼衛生費 健康づくりや環境対策など
- ▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済
- ▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般
- ▼農林水産業費、商工費、労働費 豊かな農林業の発展や多彩な商工業の進展、雇用対策など
- ▼土木費、災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修